

2001年9月11日—
4機の旅客機がハイジャックされた。
3機はターゲットに到達。

これは、その4機目の物語である。



「ボーン・スプレマシー」の名匠が贈る

ユナイテッド93



Universal
Pictures



STARS

THIS FILM IS NOT YET RATED FOR
FUTURE INFO GO TO FILM.RATINGS.COM

www.united93.jp

©2006 UNIVERSAL STUDIOS



<http://ulpm.jp/united93/>

あれから5年

忘れないでいてほしい

40名の乗客と乗員に、尊い勇気が生まれたことを
残された家族に、かけがえのない人生が続いていることを

2001年9月11日——

午前8時42分、ニュージャージー州ニューアークからサンフランシスコに向けて、ユナイテッド93便が飛び発った。

その直後、アメリカン11便がワールド・トレード・センター北棟に、続いてユナイテッド175便が南棟に激突した。

その時はまだ、ユナイテッド93便の乗客乗員は、何も知らず、穏やかなフライトが続いていた。

そしてテロリストが動き始めた。機内の犯人からの声に戸惑う管制官たち。アメリカン77便も、ペンタゴンに墜落。

乗客たちは機内から電話で、地上にいる愛する家族と連絡をとりあった。

3機の情報を聞いた乗客たちは、確信し、絶望した。自分たちも、どこかのターゲットに向かっていることを……。

何もしなければ、他の旅客機のように多くの犠牲者を出す。このままでよいのか。

愛する者に最後のメッセージを残して、乗客たちは、確かな勇気と団結力に包まれ、行動を開始した——。

『ブラディ・サンデー』でベルリン映画祭金熊賞を獲得、マット・デイモン主演『ボーン・スプレマシー』で全世界大ヒット作を送り出した名匠ポール・グリーン格拉斯監督。

彼は、ユナイテッド93便が10時3分、ペンシルベニア州に悲運の墜落を遂げるまでを、知りえた事実を曲げることなく、見せるべきことを見せることに徹した。

監督は語る。「ユナイテッド93の乗客は、“9.11以降の世界”に生きた最初の人々だった。

“9.11”について、あらゆるメディアが取り上げてきた。唯一、私たちが語っていなかった場所は、最も影響力のある映画という領域だった」

“9.11”に命を失ったすべての犠牲者に捧ぐ——。

『ユナイテッド93』は想像を超えるかたちで神話となるだろう。

しかし、私たちは今、その出発地点にいる。

——Hollywood Reporter

人間という小さき存在の偉大さを示したことが、
『ユナイテッド93』の新しさであり、最大の魅力である。

——Entertainment Weekly

ユナイテッド93

監督・脚本：ポール・グリーン格拉斯

製作：ティム・ビーヴァン、エリック・フェルナー、ロイド・レヴィン

ユニバーサル映画／UIP配給



www.united93.jp



8.12<sat>ROADSHOW

特別鑑賞券絶賛発売中 一般1300円

(一部劇場を除く)

日比谷東宝映画街・帝国ホテル向い

日比谷みゆき座

03(3591)5357

フジテレビ前・アクアシティお台場

お台場シネマシアージュ

03(5531)7878

JR新宿中央東口・三越裏 武蔵野ビル3F

新宿武蔵野館

03(3354)5670

JR川崎駅東口・京浜急行川崎駅中央口

川崎チネチッタ

044(223)3190



http://ulpm.jp/united93/